



Title	デザイン理論 1号 学会報告/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 1962, 1, p. 84-89
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/52415">https://doi.org/10.18910/52415</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 学会報告

### 経 過 報 告

34年9月12日(土) 楽友会館に於て発起人会開催。創立総会準備を世話人に委託す。

16日(水) 準 備 会

10月11日(日) 準 備 会

27日(火) 準 備 会

11月2日(月) 準 備 会

6日(金) 準 備 会

7日(土) 創立総会並に研究発表・記念講演を成安女子短期大学講堂に於て開催。

二百名に近い参会者を迎えて盛会裡に終了後、京極美松に於て懇親会を催し出席者68名飲を尽す。

#### 研 究 発 表

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1)「デザインの分析と統合」     | 京阪電鉄KK企画室 中西 徹氏 |
| 2)「被服的表現について」      | 帝塚山女子大 村上 憲司氏   |
| 3)「衣裳と容貌の変遷について」   | 京都工織大 福永 俊吉氏    |
| 4)「デザインにおける不易と流行」  | 京都美大 向井 正也氏     |
| 5)「カラーデザインに関する一考察」 | 奈良女子大 山崎 勝弘氏    |

#### 記 念 講 演

- |            |         |
|------------|---------|
| 「デザインと企業」  | 我 妻 栄氏  |
| 「図案の道あれこれ」 | 霜 鳥 之彦氏 |

11日(水) 幹事会

28日(木) デザイン学会京都大会に会員中の有志協力す。

12月12日(土) 京都大学文学部第8教室に於て第1回研究例会を開催し、そのあと懇談会にうつり8時 散会す(出席者120名)

#### 研 究 発 表

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 「ヨーロッパ旅行談」      | 京都工織大 大 倉 三郎氏 |
| 「デザイン指導の基礎的諸問題」 | 京都美大 長 崎 盛輝氏  |

35年1月30日(土) 幹事会

2月10日 会報 第1号発行

2月20日(土) 第2回研究例会を大阪市立大学家政学部講義室に於て開催。つづいて

懇談会活潑なディスカッションあり、有意義に終る。(出席者90名)

#### 研 究 発 表

「企業内に於けるデザイン業務」

阪 急 電 鉄 田 中 照 三 氏

「現代美術思想の一面と工芸」

京 都 工 繊 大 河 本 敦 夫 氏

35年4月4日(月) 幹 事 会

11日(月) 役 員 会

27日 会報 第2号発行

5月7日(土) 総会並びに第3回研究例会を京都工芸繊維大学工芸学部第1教室に於て開催。

#### 研 究 発 表

「欧米のインテリアデザイン見て歩き」

K K高島屋 樋 口 治 氏

6月3日(金) 幹 事 会

7月2日(土) 第4回研究例会を京都学芸大学第1講義室に於て開催。

#### 研 究 発 表

「デザイン教育の諸問題」

兵 庫 工 業 高 校 南 原 七 郎 氏

「世界デザイン会議について」

布 施 工 芸 指 導 所 坪 井 恭 平 氏

7月20日 会報 第3号発行

9月20日(火) 会員名簿発刊す

10月8日(土) 役 員 会

18日(火) 役 員 会

11月11日(金) 役 員 会

11月17日 会報 第4号発行

12月2日(金) 第2回研究大会(第1日)を大阪市立美術館講堂に於て開催。

#### 研 究 発 表

「ルネッサンスの一建築家のイメージ」

京 都 工 繊 大 相 川 浩 氏

「アート・ディレクターについて」

大 阪 淀 高 校 北 根 肇 氏

「被服造形学の課題について」

大 阪 市 大 中 嶋 朝 子 氏

「すきや建築における床面坐、椅子坐の一考察」 成安女子短大 宇都宮 誠太郎氏

ル・コルビュジエ展見学

12月3日(土) 第2回研究大会(第2日)を大手前会館に於て開催。

#### 研 究 発 表

「陶磁工芸のデザインと素材との関係」

京 都 美 大 小 山 喜 平 氏

「Human Engineering (Ergonomics) について」 京都工繊大 中 村 雄二郎氏

「古代中国における意匠(造型)成立の過程について」

大 阪 市 大 高 田 克 己 氏

「イラストレーションについて」

日 宣 美 早 川 良 雄 氏

「＜コミュニケーション＞伝達のための新しい道具としての言語」

大阪工芸高校 三 木 康 生氏

デザインハウス見学

12月20日 会報 第5号発行

36年2月18日(土) 第5回研究例会を神戸六甲荘に於て開催

研 究 発 表

「デザインの基礎理論に関する一考察」GRAVES のデザイン理論を中心として

京 都 学 大 伊 東 一 信氏

「マス・メディア機構内のデザインに関する一考察」

産経新聞社 小 川 義 人氏

36年5月27日(土) 第6回研究例会を京都美術大学に於て開催

研 究 発 表

「デザインの意味」

京 都 美 大 元 井 能氏

研究例会終了後 役員会

36年7月8日(土) 第7回研究例会を成安女子短期大学に於て開催

研 究 発 表

「デザインポリシーの契機とその理念」

京阪電鉄KK 中 西 徹氏

「形態とデザイン」

成安女子短大 安 藤 博氏

研究例会終了後 役員会

36年9月30日(土) 第8回研究例会を浪速短期大学に於て開催

研 究 発 表

「商品市場とデザインの関係」

成安女子短大 吉 村 午 郎氏

報 告

「ヨーロッパ諸都市のウインドディスプレイ雑感」

京 都 美 大 長 崎 盛 輝氏

36年10月17日(火) 役 員 会

11月6日(月) 幹 事 会

11月17日(金) 第3回研究大会(第1日)並びに第3回総会を京都大学楽友会館に於て開催

研 究 発 表

「女性のデザイン感覚についての考察」

京 都 美 大 城 貞 男氏

「デザインとフォルム」

日吉ヶ丘高校 武 田 恒 夫氏

「デザイン行為の規範について」

京都市工芸指導所 片 山 行 雄氏

「欧州見学」

全日本染織図案家連盟 田 中 吉之介氏

シンポジウム「グッドデザインとはなにか」 司会 京都大学 井 島 勉氏

11月18日(土) 第3回研究大会(第2日)を京都大学楽友会館に於て開催

## 研 究 発 表

「新しいオフィスビルのインテリアの実例」

日建設計工務KK 岡 村 実氏

「巴文様の一考察」

大 阪 市 大 辻 合 喜代太郎氏

「新聞紙面構成 (PRINTING METHOD) に対する提案」

京 都 学 大 重 成 基氏

研究発表終了後 役員会

象 彦 見 学

36年12月9日(土) 泉屋博古館(住友銅器) 見学

37年2月7日(水) フランス美術展特別鑑賞会

37年2月12日(月) 会報第6号第7号発行

37年2月17日(土) 第9回研究例会を京都美術大学に於て開催

## 研 究 発 表

「MOULD 成型についてのデザインの研究」 京都工繊大 野 口 茂氏

「東南アジアを旅して」 河合玲デザイン研究所 河 合 玲氏

研究例会終了後 役員会

37年2月26日(月) 会誌編集委員会

37年4月21日(土) 第10回研究例会を兵庫県社会事業会館に於て開催

## 研 究 発 表

「商品の色彩計画について」

鐘 紡 KK 佐 野 正 男氏

「手工芸について」

陶 芸 家 佐々木 猛氏

37年6月8日(金) 幹 事 会

## 渡 辺 賢 一 氏

10月26日永眠されました。氏は大阪市立工芸高等学校校長として、デザイン教育に永年たづさわってこられ、また本会の発会以来、委員として色々と御尽力を賜りました。ここにご報告少々学会として、つつしんでご冥福を祈る次第であります。

# 関西意匠学会会則

## 第1章 総 則

第1条 本会を関西意匠学会と称する。

第2条 本会の事務所を当分の間、京都学芸大学構成研究室に置く。

## 第2章 目的及び事業

第3条 本会は意匠に関する会員相互の研究により、意匠学の進展を図ることを、目的とする。

第4条 本会は次の事業を行うことができる。

1. 各種研究会の開催。
2. 機関誌その他の編集又は発行。
3. 意匠に関する研究者共同の便宜、利益を図るための諸活動、及び諸事業。
4. その他本会の目的達成に必要な事業。

## 第3章 会 員

第5条 本会の会員は正会員、法人会員、賛助会員とする。

1. 正 会 員 意匠各部門の研究又は従事者であり、会費を納入する者。
2. 法人会員 法人又は団体の名において、本会の事業に参加する者。当該法人に所属する職員五名以内が、本会主催の諸集会、各種研究会に出席することができる。
3. 賛助会員 本会の事業に賛同する後援者。

## 第4章 役 員

第6条 本会に左の役員を置く。

会 長 一 名  
委 員 若 干 名  
幹 事 若 干 名

第7条 会長は委員の推薦による。

第8条 委員及び幹事は正会員中より選出し、委員の互選により委員長一名を定める。

第9条 委員会は本会運営の方策を協議し、幹事は運営の事務を担当する。

第10条 役員の任期は二年とする。但し、再選を妨げない。

第11条 本会に顧問を置くことができる。顧問は委員会が推選し、会長これを委嘱する。

## 第5章 会 議

第12条 会議は総会及び委員会とする。

総会は年一回これを開く。別に委員会が必要と認めた場合、又は、正会員総数の三分の二以上の要求ある時これを開く。

第13条 総会の決議により会則を変更することができる。

## 第6章 会 計

第14条 本会の経費は会費及び補助金その他を以ってこれに当てる。

第15条 本会の会計は四月一日より始まり翌年三月三十一日に終る。

第16条 会費は総会において決定する。

正 会 員    年額    800円

法人会員    一口 3,000円

賛助会員    委員会がこれを定める。

(一口 年 10,000円)

## —— 編 集 後 記 ——

○編集には主として、元井、向井、城、榊原、中西が当たった。広告の取材には、野口、北根、林諸氏の応援を求めた。

○記事依頼をしたのが、晩春、発行が晩秋、いかにも現代的テンポとはいいがたい。寄稿者も多忙なれば、編集者も多忙、かかる意味では、いかにもデザイン多忙の現代的ともいえるか？

○おそろしく重厚な、内容豊かな論文研究が得られたことを嬉しく思っている。読みづらいことだろうが、一年に二、三度はこれ位のことは辛抱願って、隅々まで読破していただきたい。

○デザインニュース・グラビア・文献目論等を今後更に充実させて行きたい。

○何度も編集会議に、静かな席を提供下さった。美術大学芸術学研究室の諸氏に厚く御礼申します。

(中西記)

---

## デ ザ イ ン 理 論 第1号

1962年11月11日 発 行

定 価 180円

編 集 発 行

関西意匠学会会誌編集委員会

元 井 能

京都市東山区今熊野京都市立美術大学芸術学研究室内

印 刷

明 文 舎 印 刷 株 式 会 社